

気候危機打開、憲法がいきる政治に

日本共産党

2022夏・参院選 日本共産党と野党共闘の勝利で、9条改憲許さず、政権交代の足がかりを



取手市民会館前に集う新成人＝1月9日

1月9日、新成人（897人）を祝う取手市成人祭が行われ、未来への希望を胸にした新成人が市民会館に集いました。2年を超える新型コロナ・パンデミックは、「利潤第一主義」の新自由主義があらゆる分野に格差を拡大、地球的規模での環境破壊という大問題を明るみにしています。コロナ禍と気候危機から地球を守り青年の未来に希望が持てる社会へ、日本共産党は、新成人・市民のみなさんと力を合わせます。

地球を守り 青年に未来を

脱炭素・原発で、本気で気候危機打開を

自公政権は、やっと昨年「2050年カーボンゼロ」を掲げたもののCO₂排出目標は、国連が示した全世界平均より低く、石炭火力に固執し新增設の方

針。「脱炭素」を口実に原発頼みのエネルギー政策を加速するなど。自公政権の気候変動への対応は大変無責任なものです。

改憲止める力は市民と野党の共闘

自民党は改憲を公約し、維新の会と国民民主党は「憲法改定の加速」で合意しました。

憲法9条改定への危険な局面が生まれています。

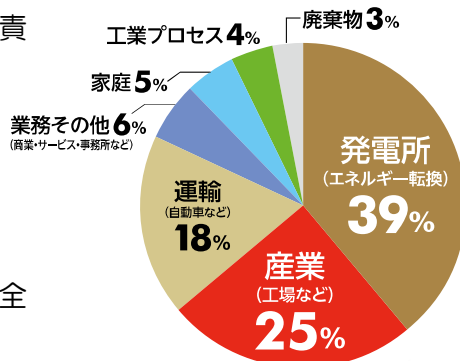
9条に沿った平和外交こそ日本を守る道。市民と野党の共同の発展で改憲を許

さない——日本共産党は全力を尽くします。

7月の参院選で日本共産党は、いわぶち友参議員をはじめ比例代表選挙で5議席以上の獲得、憲法を平和と暮らしに生かす政治をめざします。

世界各地で、異常な豪雨、台風、猛暑、森林火災、干ばつ、海面上昇など気候変動による異常

CO₂の排出量の分野別割合[2019年度]
環境省「2019年度の温室効果ガス排出量」より



地球が危ない！

事態が発生。国内各地でも毎年のように豪雨災害に見舞われています。

取手市が、2020年8月に発表した「気候非常事態宣言」について、昨年12月議会で「学校等公共施設に太陽光発電施設の設置」を求めた共産党議員の質問に「今後検討する」と市は答弁。市の宣言実行の具体化はこれからで、「気候変動の適応策として風水害に強い街づくりを進めます。」(宣言第4項)とする一方広大な農地を壊す桑原開発計画を進めています。

国民の合意で一步一步 政治を良くする 日本共産党

日米安保どうする？



軍事同盟をやめ 友好条約に

日本共産党は、国民の合意で「日米安保条約は廃棄し、対等・平等の日米友好条約を」と主張しています。

「アメリカいいなりをやめよう」とぶれない日本共産党が伸びてこそ、沖縄・辺野古の米軍基地押しつけやめ、日米地位協定廃止、米軍低空飛行訓練中止の力になります。

中国とどう向き合う？



厳しく批判 対話による 平和的解決を

日本共産党は、中国に面と向かって「覇権主義はやめよ」「国際法を守れ」と要求しています。「戦争は絶対起こしてはならない」——軍事対軍事のエスカレートではなく、対話による解決、平和なアジアをつくる立場で、政府や関係国に呼びかけています。

原発ゼロ。平和が原点。

たたかうときは、みんなで。



日本共産党参議院議員

いわぶち 友

2016年 参議院選挙比例代表で初当選
現在、経済産業委員会理事、決算委員
東日本大震災復興特別委員

日本共産党中央委員、
原発・気候変動・エネルギー問題対策委員
日本共産党国会議員団・気候危機対策
委員会事務局長



「憲法改悪を許さない全国署名」にご協力ください。

先制攻撃そのものの「敵基地攻撃」、6兆円超の軍事費、憲法9条改定で“9条の歯止め”を外したら米軍とともに戦争に突入することになりかねません。9条を堅持し憲法活かした政治こそ必要です。

市民のいのち・健康第一のコロナ対策と取手市国保制度を

一度に数万円は厳しい

国保税の支払期日が近づくと、いつも頭を悩ませます。滞納がないようにと、他の支払いを後回しにして何とか国保税を優先して納税するようにしていますが、一度に数万円の支払いは、思いのほか厳しいです。取手市には44億円もの基金が積み立てられていると聞きます。莫大な基金は国保加入者に還元すべきです。

自営業 取手市内

税の引き下げ出来るね

44億円も黒字だということは、税率を低くしても大丈夫ということ。住民税など、取りすぎた税金は戻すんだから、是非返してほしいし、値下げして！取手市をもっと人が集まる、住みやすい魅力ある街にしてほしい。これまで社会を担ってきた高齢者にもね。

年金生活者

税は生きた使い方を

点滴もしたこともない私は、昨年手術をした。手術もドキドキだが、支払いはいかほどかドキドキ。国保の力を借り自己負担は思ったより下であった。その後の通院は続き窓口支払いは少額でも「塵も積もれば」でそれなりの額になる。

取手市は44億円の基金がたまっているとか、流れないと澱みますよ。生きた使い方をしてほしい。毎年納めているのだから少し返して。

年金生活者



日本共産党

基金
44億円

黒字続きの国保税引き下げ
ためすぎた基金
公平に戻して

コロナ禍での2年間、暮らしと健康不安を抱える市民には、高い国保税の納付を求め、大幅黒字会計で、ため込んだ基金残高は44億円。市民から驚きの声と「国保税引き下げ」「貯め過ぎた基金返して」の声が……

単年度会計でしょう！

年金は、少しずつ下げられてきているのに、国保税は、もらった年金の1割以上納めなくてはならない。本当は単年度会計にするべきなのに、黒字で44億円もため込んでいるとは知らなかった。納めた人たちに還元するのがスジでしょう。そして国保税を値下げして！

年金生活夫妻

後期高齢にも戻して

ためすぎた積立金返してくれるんだって？2021年から後期高齢になっちゃった私たちにも戻してくれるのかなあ？何年も高い国保税を納めてきたんだから期待しましょう。

議会みんなで、市に返還を要求して市長に約束させたって、今回は議会を見直したよ。

元国保の年金生活者

後手に回った政府のワクチン接種

猛威!!
オミクロン株
第5波のピーク超える

ワクチン3回目接種で、方針転換を繰り返す政府に、全国の地方自治体は振り回されています。政府は当初2回目接種以降の間隔8ヶ月を、昨年末に医療従事者や施設に入所する高齢者は6ヶ月、13日に64歳以下の高齢者・一般の人は7ヶ月に変更しました。

ワクチンの在庫があるにも関わらず、後手に回った政府の方針でOECD36カ国中最下位の接種率と遅れています。

取手市 接種券発送始まる

取手市では、先行接種の医療従事者などは接種中（1月中旬）、一般には1月5日から接種券発送が始まり3月8日発送までの5回に分け発送。接種開始予定は1月21日から市内31カ所の医療機関で始まり、集団接種は2月2日からの予定です。（県の集団接種は2月8日から）

国保税の引下げ、基金の公平な還元を求める請願署名にご協力ください。

市民団体と日本共産党など共同の請願は、3月定例市議会に提出します。署名用紙などお問い合わせは

☎ 0297-72-7816

いのちを守る最前線 共産党議員団 JAとりで総合医療センターを訪問

1月14日、日本共産党（関戸・加増・遠山・小池）4人の市議団は、「オミクロン株」が猛威を振るう中で、地域医療の拠点病院として役割を担うJAとりで総合医療センターを訪問、事務部長・事務副部長と懇談しました。

コロナ禍で患者の受診控えが続き、特に外科・産婦人科・小児科などは元に戻らない実態。毎日、患者との接触に「うつさない、うつらない」など細心の注意と使命感を持って感染防止対策に苦勞されていること。併せて、国の医療削減政策による「医師不足の深刻化」をはじめ、コロナ感染への対応の困難なこと、医療体制の課題



新型コロナ対応や国民健康保険などJAとりで総合医療センター事務部長（写真右）に要望・懇談する党議員団

について再認識しました。国保税を払えず、治療費の支払いも困難な患者に寄り添う病院の気遣いも強く感じました。国保会計44億円の基金には、「うまく活用できないのでしょうか？」など、率直な意見も聞かせていただき有意義な懇談となりました。

県知事に緊急要請

1月14日、県内の党議員団は、検査体制の拡充やワクチン接種の推進、医療や宿泊療養体制の抜本的強化など12項目の対策を県知事に対して緊急要請しました。

無症状者対象のPCR・抗原検査が1月末までの予定で始まり、2月以降の延長・継続と、土日や夜間対応も図れるよう検査数拡大への対応策も提案しました。

日本共産党県内地方議員団

取手市内ではウエルシア薬局4カ所とひかり薬局取手店に対応。検査キット数などの制限で、“希望しても受けられない”状況も起こっています。

感染封じ込めの決め手は、大規模PCR検査を行うこと。きめ細かな検査体制には、国・県の責任とともに市の役割も問われます。日本共産党は、“いつでもどこでも無料で検査”へ引き続き全力を尽くします。